

第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会参加レポート

火山マイスター9期生 佐々木和恵

ユニバーサルデザインでの分科会があるとのことをお話をいただき、初めてジオパーク全国大会に参加した。

到着2日目

白山手取川ジオパークを見学し、この場所について何もわからない私は大会の前に学ぶ機会を与えてもらった。

大会1日目

開会セレモニーに参加、石川県の踊りと素敵な歌？を披露してくれたが、私はそこでは手話に注目をした。

中途半端にだが習っているので、早口の人の通訳はついていくのが大変そうだった。

私が以前、手話通訳付きでオンライン防災学習をやった時は、外国人の方へ通訳を介してガイドをしているのと同じく、文章を短くわかりやすい言葉で区切って話をしたので、かなり違いを感じた。

分科会⑤「やさしい日本語」でジオパークを表現しように参加。

ユニバーサルデザインの分科会に上手く参加できることになり、目的を果たすことができた。

題目の「やさしい日本語」と看板についての話がされるということで、最初、今回は自分の理想の話とは少し違う話になるのかも？と思いながらいた。

丸橋さんの話と白山市での「やさしい日本語」の取り組みを紹介された。

丸橋さんの話は時間がなかったためか、急ぎ足での語りだったのでいつかお会いできた時にはじっくり教えていただきたいと思った。

白山市には国際交流協会があり、外国人の方にとっても丁寧な取り組みがされていた。

「やさしい日本語」とは日本語能力試験3級程度で、小学2～3年生で学習する日本語の表現に相当すると伝えており、更に、個人差や柔軟性まで考慮した文章を協会の人緒方と勉強していて、それを、日本語教師や外国人にチェックしてもらうほどの徹底ぶりだった。

それが必要なくらいに、白山市には外国人の人口が多いというのが特徴のようである。

そして、「やさしい日本語」を使って、災害情報を「迅速に・正確に・簡潔に」外国人被災者に伝えるための提案をしている。

阪神・淡路大震災がきっかけとのことだが、白山では土砂崩れや洪水などの自然災害の危険もあるので、外国人の住民を守っていくために真剣に取り組んでいくのだと思う。

「新たな旅スタイルの考察」という話しでは、興味深い話を提供していただいた。

ある観光地の景色を高いところから車椅子に乗ってみたところ、危険防止の手すりが高く、立っている人には見える景色が見ることができないという、とても残念な写真が出ていた。「観光客に来てもらう」以上に「来てもらった観光客に楽しんでもらう」という言葉が出ていた。

その話を聞いて、観光客は「一般的に」立って歩いて、見て、聴いて楽しめる人と思われて、観光スポットは作られていくのだと私は感じた。

視覚障害の人には手で触れてもらい楽しんでもらうという話もあった。

大事なのは遠慮させないこと。という言葉に私は引かれた。

そして、火山マイスターで私が取り組みたいことも同時に考えた。

学ぶことも、避難することも遠慮している災害弱者とその家族がいるのが現実。

その気持ちを取り払うにはどうしたらいいのか、どうしたら聞いてもらえるのか考えている。

座学の後には、野外に出て近くにある看板を見てみよう。そして、自分のクラスジオパークで新たに看板を作るとしたらどう作るのかを、グループワディスカッションwo行った。

野外の看板では、車椅子に座った状態で見ることができるか、外国人にもわかりやすい文章になっているのか等を検証した。

看板はそもそもいえる人対象に作られているものが多く、色や点字を考えると現実的には難しいものだというのはわかる。

では、どうすることで伝わるのだろうか？感じてもらえるのだろうか？

というのは、私が火山マイスターとしてユニバーサルデザインを進めていく最大の課題である（今のところ）。

当人に何うしかわかる手立てはないとおもっている…

室内に戻り、グループの中でどこのジオパークの看板を作っていくかを決めるとき、一斉に私の顔を見ていた。

やはり、洞爺湖有珠山ジオパークは全国でも注目を浴びているというのが、ここで実感した。まず、私がどのようなジオパークで、どのような活動（教育）をしているのかを、ネットで情報になる画像を見せながら詳しく伝えていった。

私のグループには、十勝のジオパークの方、北海道地図の方、旭川出身で蔵王ジオパークにいる方という割と近いところからの集まりだった。

A3の用紙に実際に作ったのだが、ありがたいことに北海道地図の方がいたので、描いても

らった。

旧とうやこ幼稚園に新たに作るという設定で考えていき、地元の学校生徒に減災教育することが多いことを伝えていたので、子どもにもわかりやすいようにと看板の中に絵も加えた。

他のグループの方たちが私のグループに来ると「いいね～洞爺湖有珠山有名だから～」

「テレビに何回も出てるでしょ～」と何人もの人に言われた。

そう言われると、ジオパークとしても、火山マイスターとしても身が引き締まるような気持ちになった。

最初に、私が理想の話とは違う話になると思っていたと書いたが、逆に視野が広くなり看板のことを考えるだけでもいろんな見方が出来る、自分の理想のユニバーサルデザインではない、もっともっと視野を広くしたいと感じたり、学ぶことができ、全国大会に来て良かったと改めて思うことができた。

最終日

飛行機の時間が早いため、朝の少しの時間だけポスター発表を見学。

どれももっと時間をかけて見せていただき、話を聞かせてもらいたいことだらけだった。

ジオパーク全国大会での目的、ユニバーサルデザインのグループに入れてもらうということも、叶いそうなので、これから学ぶ中で全国の皆さんのお話聞かせてもらえることがこれからの楽しみで、感心するばかりではなく実践していく力を付けていきたい。

終わり。